

## 粉じん濃度測定結果のお知らせ

2026年3月31日(火)

測定日	作業工区 養生内 (cpm)	集じん・ 排気装置 排気口内 (cpm)	セキュリテ ィゾーン 出入口前 (cpm)	足場エリア の隔離養生 周り (cpm)	※バックグ ラウンド (BG) 地点 (cpm)	体育館周辺 (cpm)	校庭 (cpm)	天気 風向	備考
3月31日 (火)	作業箇所および作業内容		体育館3階北側 天井の電気配管・吊りボルトの撤去作業						
	10~137	0	9~33	4~21	8~35	8~35	8~31	雨後曇り 南西	アスベスト漏えいの懸念なし
3月30日 (月)	作業箇所および作業内容		体育館3階南側 天井の電気配管・吊りボルトの撤去作業						
	9~143	0	11~15	7~12	10~22	10~22	8~18	晴れ後曇り 南西	アスベスト漏えいの懸念なし
3月27日 (金)	作業箇所および作業内容		体育館3階 柱回りのケイ酸カルシウム板、および天井の電気配管・吊りボルトの撤去作業						
	18~142	0	14~21	5~25	11~30	11~30	13~33	晴れ 北のち南東	アスベスト漏えいの懸念なし
3月26日 (木)	作業箇所および作業内容		体育館3階 作業前検査						
	-	-	-	-	-	-	-	-	アスベスト漏えいの懸念なし

3月31日(火) 体育館3階北側において、天井の電気配管および吊りボルトの撤去作業が行われました。粉じん濃度について、バックグラウンド(BG)値が35cpmから8cpmと、20cpm以上の変動が確認されました。この数値は作業開始直後の16時に最高値を示し、以降は時間の経過とともに低下しています。当日は16時頃まで降雨があったことに加え、近隣の深井測定局におけるPM2.5濃度の推移(16時:26 $\mu$ g/m<sup>3</sup>、17時:12 $\mu$ g/m<sup>3</sup>、18時:6 $\mu$ g/m<sup>3</sup>、19時:5 $\mu$ g/m<sup>3</sup>、20時:8 $\mu$ g/m<sup>3</sup>、21時:4 $\mu$ g/m<sup>3</sup>)も同様に、16時をピークとして時間の経過とともに低下しています。これらのデータ推移がほぼ一致することから、BG値の20cpm以上の変動は測定機器の異常(測定ミス)ではなく、降雨によるミストおよび外気中のPM2.5濃度の変動に起因するものと判断いたします。他、集じん・排気装置の排気は0cpmを維持しており、セキュリィゾーン出入口前、足場エリア、体育館周辺および校庭の測定値は、いずれもBG値+20cpm未満でした。

以上のことから、作業工区からのアスベスト漏えいの懸念はないと判断いたします。

※BG地点とは、体育館周辺のうち、測定時に風上に位置した地点を指します。

アスベスト粉じんが漏えいしていないと判断する基準は次のとおりです。

- ①集じん排気装置排気口内 0 cpm (デジタル粉じん計による測定)
- ②セキュリィゾーン出入口 BG+20 cpm 未満
- ③足場エリアの隔離養生養生周り BG+20 cpm 未満
- ④体育館周辺の風下の値が風上 BG+20 cpm 未満。

ご質問等がありましたら、一社) 日本石綿対策技術協会 ACA Japan の志垣龍三までご連絡ください。メールアドレス shigaki.ryuzo@aca-japan.or.jp